

# 中期経営計画期間における配水状況・財務状況

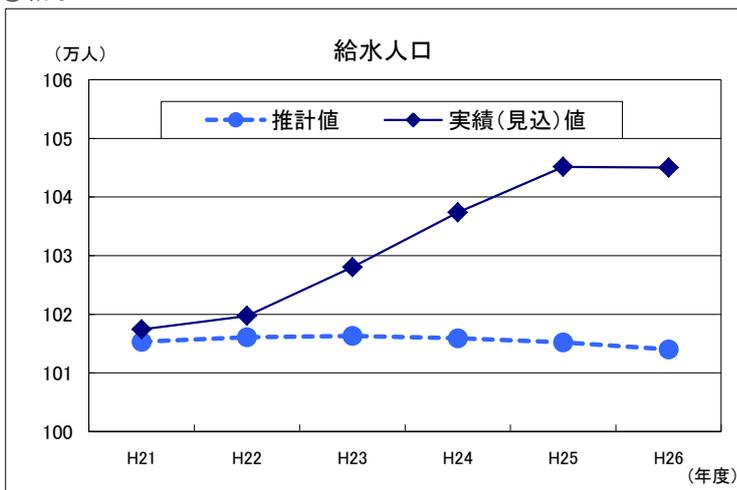
## 1. 配水状況

### 【1】配水実績と計画

項目	年度	【参考】 計画前年度	中期経営計画期間				
		平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (見込)
給水人口 (人)		1,017,407	1,019,713	1,028,015	1,037,351	1,045,133	1,045,000
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> /日)		334,956	335,936	332,831	333,654	329,439	329,060
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> /日)		373,452	380,824	366,640	366,751	361,606	361,600
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )		122,259,082	122,616,563	121,816,255	121,783,863	120,245,287	120,106,900
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )		113,727,363	114,855,582	108,067,120	113,480,466	113,201,886	112,781,350

### 【2】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

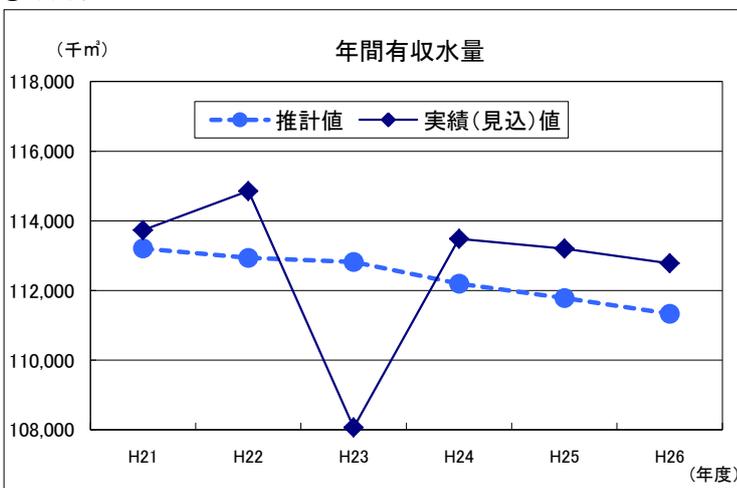
#### ①給水人口



平成25年度実績値は、東日本大震災後の人口流入の影響から、推計値を約30,000人上回りました。



#### ②年間有収水量



平成25年度実績値は、給水人口の増加などにより推計値を約142万m<sup>3</sup>上回っているものの、近年の水需要減少の傾向に変化は見られません。  
平成26年度についても同様に、前年を下回る見込みです。



※ 上記①、②の推計値は、中期経営計画に掲載している配水計画値(平成22年1月推計)です。  
※ 上記①、②の実績(見込)値のうち、平成21年度～25年度は実績値、平成26年度は見込値です。

## 2. 財務状況

### 【1】収益的収支の状況

(単位:百万円)

区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)
収益的 収支	収入	給水収益	25,017	25,101	23,563	25,058	24,911	25,556
		水道加入金	763	779	832	1,007	1,379	1,018
		他会計補助金	390	444	673	571	479	371
		長期前受金戻入	—	—	—	—	—	1,316
		その他	1,124	1,003	1,300	1,164	1,177	1,333
		計	27,294	27,327	26,368	27,800	27,946	29,594
	支出	人件費	3,724	3,807	3,651	3,232	3,150	3,294
		物件費	5,062	4,976	5,443	5,332	5,985	7,281
		受水費	7,547	6,947	6,408	6,793	6,794	7,194
		減価償却費	7,063	7,120	7,089	7,155	7,208	7,435
		支払利息	2,217	2,006	1,914	1,804	1,621	1,513
		その他	891	797	937	828	811	5,103
		計	26,504	25,653	25,442	25,144	25,569	31,820
		当年度純損益(税込み)	790	1,674	926	2,656	2,377	△ 2,226
	当年度純損益(税抜き)	585	1,429	703	2,429	2,137	△ 2,874	
	その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—	—	—	29,218	
	利益剰余金 (△ 欠損金)	△ 2,882	△ 1,453	△ 750	1,679	2,137	28,481	

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。(平成25年度までは5%、平成26年度は8%)ただし、当年度純損益(税抜き)、その他未処分利益剰余金変動額及び利益剰余金については消費税及び地方消費税抜きの額です。

※ 平成24年度利益剰余金1,679百万円、平成25年度利益剰余金2,137百万円については、全額を減債積立金(借入金の返済に充てるための積立金)として積み立てました。

※ 平成26年度予算から公営企業の会計制度が見直されているため、平成25年度までと計上方法が異なります。数字上では利益剰余金が増加しますが、新たな現金収入が発生する訳ではないため、会計制度見直し前と比べて経営実態に変化はありません。

### 【2】資本的収支の状況

(単位:百万円)

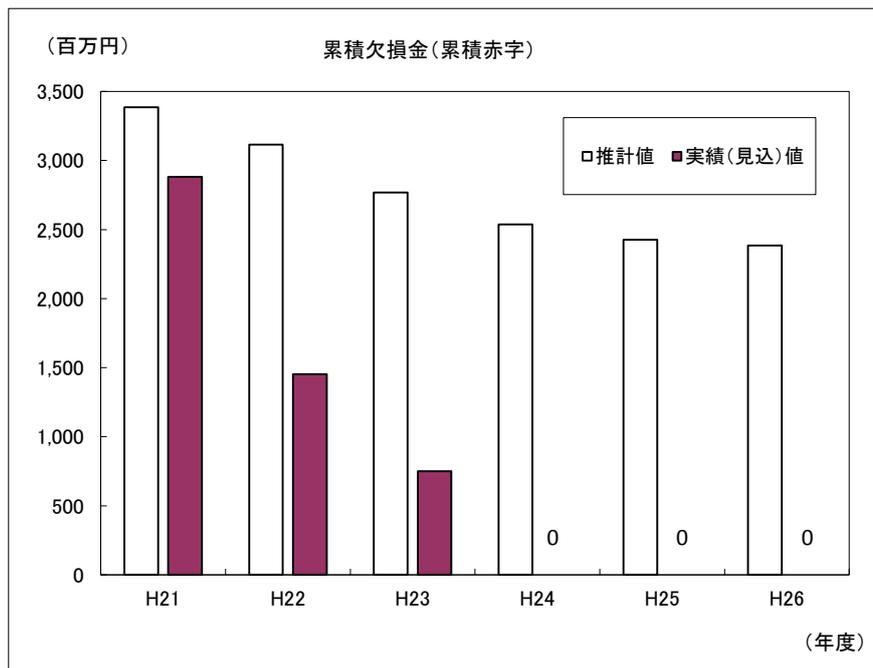
区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)
資本的 収支	収入	企業債	5,147	2,376	1,632	2,150	5,731	4,300
		出資金	569	446	444	455	472	570
		国庫補助金	290	155	42	23	58	173
		その他	570	422	337	598	675	518
		計	6,576	3,399	2,455	3,226	6,936	5,561
	支出	建設改良費	5,296	5,804	5,181	5,763	6,087	9,561
		企業債償還金	7,988	5,320	5,445	5,376	8,191	5,227
		その他	0	128	233	4	0	0
		計	13,284	11,252	10,859	11,143	14,278	14,788
		収支差額	△ 6,708	△ 7,853	△ 8,404	△ 7,917	△ 7,342	△ 9,227
	補てん財源	9,197	10,610	12,100	13,775	14,560	11,733	
	累積資金剰余額	2,489	2,757	3,696	5,858	7,218	2,506	
	企業債残高	82,368	79,424	75,611	72,385	69,925	68,998	

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。(平成25年度までは5%、平成26年度は8%)ただし、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額です。

※ 平成26年度の資本的収支は、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額を含まない額です。

### 【3】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

#### ①累積欠損金(累積赤字)

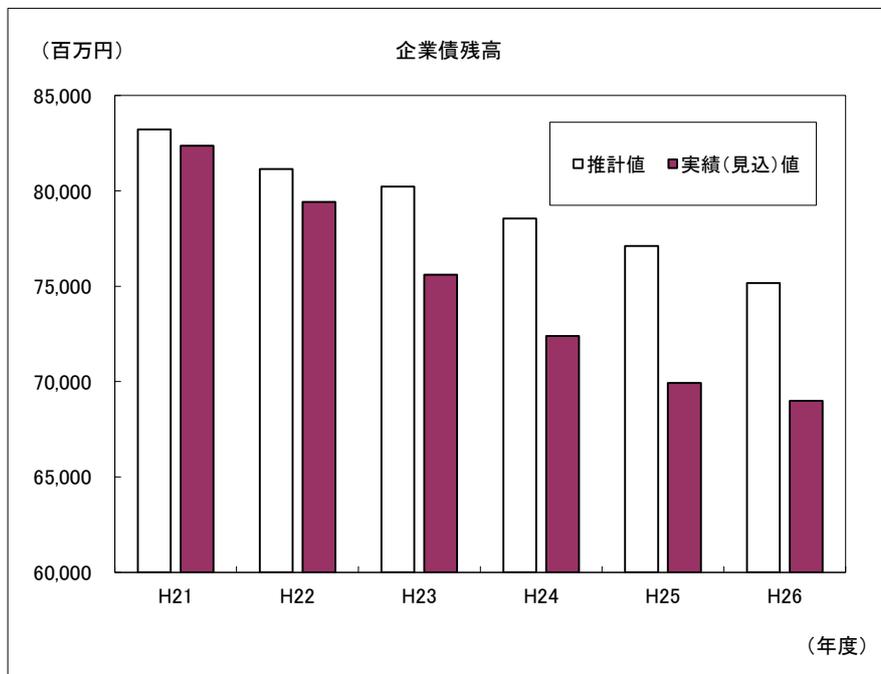


平成25年度は、決算で黒字を確保することができたため、前年に引き続き、累積欠損金は発生しませんでした。  
平成26年度についても、同様に推計値を大きく下回る状態を維持できる見込みです。  
このことから、財務状況の健全化が順調に進んでいると言えます。

※累積欠損金  
営業活動の結果生じた欠損金(一般的な赤字にあたる)が当該年度で処理できずに、複数年度にわたって累積したものです。



#### ②企業債残高



平成25年度実績値は、推計値を約71億9千万円下回っており、財務状況の安全性が着実に高まっていることが分かります。一方で、いまだ約700億円の残高となっていることから、今後とも圧縮に努めていくことが重要です。

※企業債  
水道施設などの建設、改良などに要する資金に充てるために発行する地方債で、一般企業における社債及び長期借入金にあたります。



※ 上記①～②の推計値は、中期経営計画に掲載している財政収支計画値(平成22年1月推計)です。  
※ 上記①～②の実績(見込)値のうち、平成21～25年度は実績値、平成26年度は見込値です。